

福島イノベーション・コースト構想 イノベ地域来訪者受入体制構築事業
「地域の価値向上に向けたブラッシュアップ事業の実施」報告会

広域連携による 次世代の担い手創出および 持続可能な関係人口創出施策

株式会社バトン

■会社概要

- 会社名 株式会社バトン



- 代表 代表取締役 林 義仁

- 設立 2008年

- 資本金 2,000万円

- 本店及び事業所

- 本店:神奈川県藤沢市鵠沼海岸7-14-13

- 本社:神奈川県藤沢市辻堂1-9-3

Shonan Eminence 3F

- 福島浜通り地域における事業実績

- 2018年 大熊町「福祉の里構想」立案に参加
- 2019年 大熊町 福祉施設「もみの木苑」設立に参加
- 2021年 大熊町 被災者就労支援事業「ジモットワーカー」
- 2022年 大熊町 関係人口創出拠点「KUMA・PRE」設立・運営
- 2023年 大熊町 ファミリー向けキャンプイベント「ダイバーキャンプ」の実施
- 2023年 福島イノベ機構 ブラッシュアップ事業 採択
- 2023年 大熊町役場生活支援課補助業務
- 2024年 大熊町 就労支援サービス事業「くまジョブ」
- 2024年 大熊町 中長期宿泊施設の設立・運営
- 2024年 東京都中央区 大熊町交流ツアー企画・運営
- その他、福島浜通り地域において、各行政機関および周辺団体、UR都市機構との継続的な取り組み多数

●今年度のブラッシュアップポイント

2023年度
の
取組

「キウイ」「花酵母のお酒」「ホースセラピー」を地域資源とするコンテンツ開発

- ①試作品開発の実施
 - ▼キウイ;スイーツ・ピュール・キウイリキュール
 - ▼花酵母のお酒 ;花酵母酒
 - ▼ホースセラピー;プログラム作成
- ②上記を通じた体験会(関係人口創出)の実施
 - ▼体験会 31回/延べ 312名の参加



2024年度
の取組

- 自走化にむけて「収益の確保」の見通しをつける
- 規模(関係人口)の拡大の見通しをつける

●今年度の具体的取組

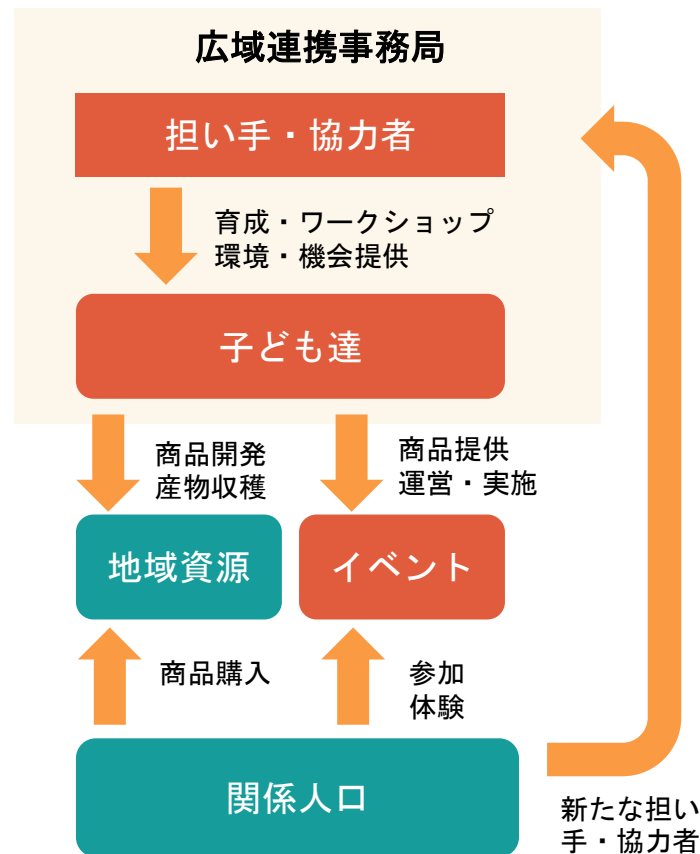
2024年度を取組で「自走」と「拡大」にむけて以下の3つの取組みを行う

①広域連携事務局の発足と拠点の拡大

②大熊町の子どもを中心とした

担い手育成活動

③持続可能な関係人口創出イベントの開発



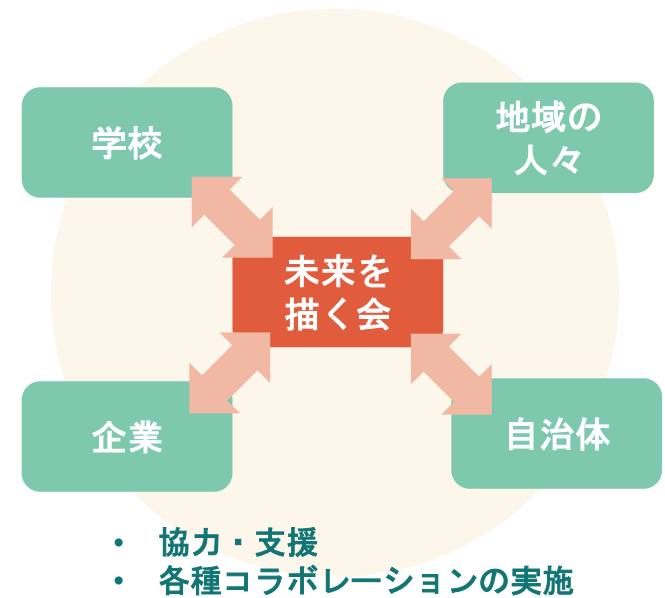
①広域連携事務局の発足と拠点の拡大

●「キウイ・馬・花から地域の未来を描く会」の立上げ

●広域① 近隣市町村
行政、学校、他まちづくり団体と運営協力
(大熊町からの推薦を得て本事業を実施)

●広域② 浜通り15市町村
地域の事業者、インフルエンサー、
経済団体との連携

●広域③ 首都圏、全国
浜通りへの集客(つなぎ直し)として、
首都圏での交流会や物販を実施



②大熊町の子どもを中心とした担い手育成活動

②大熊町の子どもを中心とした担い手育成活動

担い手育成活動として、若者(子供・大学生)を中心に、商品開発と交流として以下の4回のワークショップを実施。

- キウイやお花をつかった染め物を手ぬぐい、風呂敷の開発
- お酒の酒粕をつかったプリンの開発

ワークショップ名	日付	ワークショップ概要	参加人数
キウイの葉っぱの収穫と草木染め体験ワークショップ	8月1日(木)	材料の仕入れ(キウイの葉っぱ)と染め技術を学ぶ。若者として、大熊町内の小学生と都内から大学生が参加した。	18名
キウイの収穫体験ワークショップ	10月12日(土)	キウイの収穫体験ワークショップ。主に周辺地域からの住民と子供、都内から大学生が参加した。	22名
花染め体験ワークショップ	11月22日(金)	お花をつかった染めのもの技術を学ぶ。若者として、大熊町内の小学生と近隣の移住者、都内から移住体験中の方が参加。	10名
花植えワークショップ	1月25日(土)	これからの大熊町をお花いっぱいにするためにお花を植えるワークショップ(お花の酵母を採取して染めものにもつなげる)	10名

②大熊町の子どもを中心とした担い手育成活動

【第1回目】「材料の仕入れ(キウイの葉っぱ)」と染め技術の習得



②大熊町の子どもを中心とした担い手育成活動

【第2回目】 キウイの収穫体験ワークショップ(学生による運営協力)



②大熊町の子どもを中心とした担い手育成活動

【第3回目】 お花をつかった染めもの(手ぬぐい)技術の習得



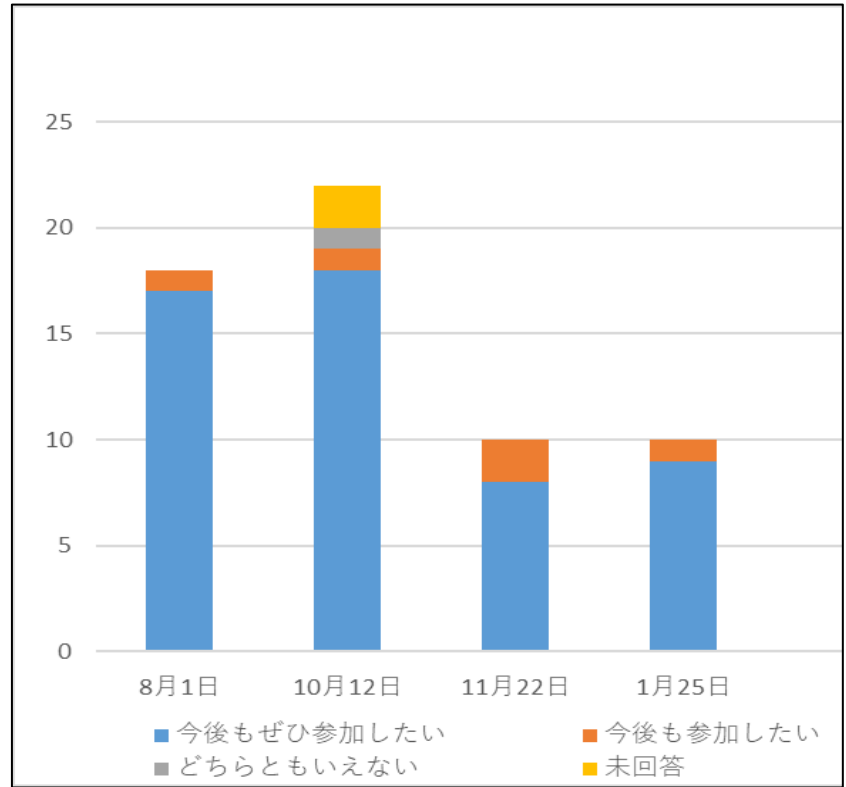
②大熊町の子どもを中心とした担い手育成活動

【第4回目】「大熊町をお花いっぱいにする」ためにお花を植えるワークショップ
(お花の酵母を採取して染めものにもつなげる)



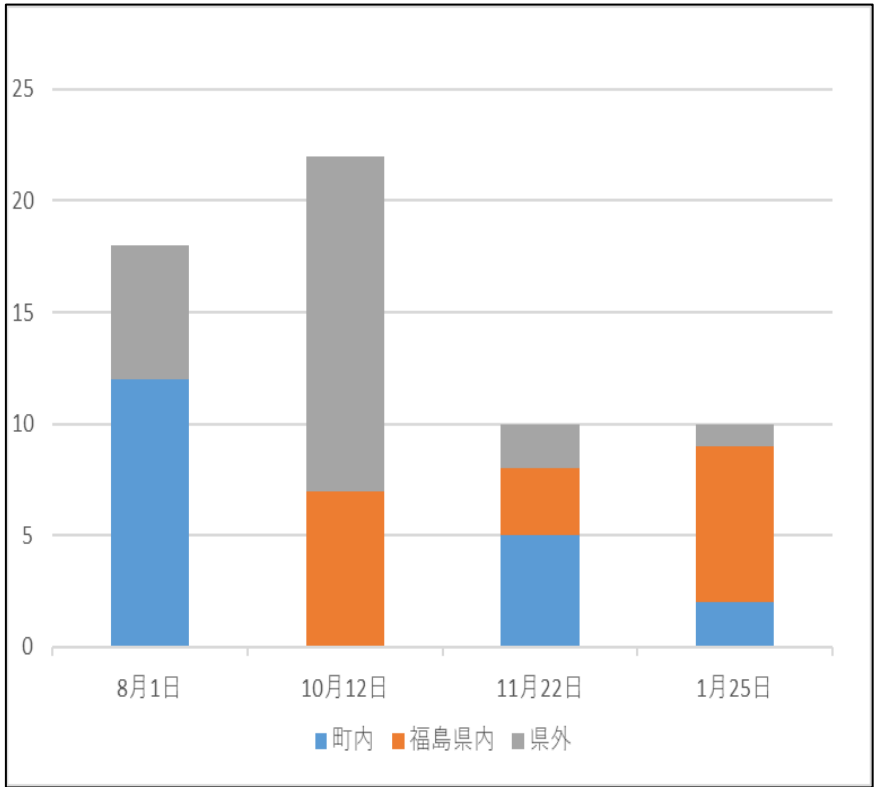
②大熊町の子どもを中心とした担い手育成活動 アンケート結果

【参加者の満足度】



	8月1日	10月12日	11月22日	1月25日
今後もぜひ参加したい	17	18	8	9
今後も参加したい	1	1	2	1
どちらともいえない	0	1	0	0
未回答	0	2	0	0
合計	18	22	10	10

【参加者の住まい】



	8月1日	10月12日	11月22日	1月25日
町内	12	0	5	2
福島県内	0	7	3	7
県外	6	15	2	1
合計	18	22	10	10

【参考】②大熊町の子どもを中心とした担い手育成活動(自主活動) 「酒粕をつかったプリン」の開発



③持続可能な関係人口創出イベントの開発

③持続可能な関係人口創出イベント(ツアー)の開発

ツアーを開催するにあたって、首都圏でのPRを行った。

福島・双葉郡に関係する団体、金融関連、メディア関連の方々など、定員を超える約60名の人たちが集まった。



集まれ双葉郡ファン! キウイ・馬・花から 地域の未来を描く会

第1回
2024年
10月10日(木)
18:30~20:30

場所 ピアス 虎ノ門店

東京都港区西新橋1-12-10
一階ビルB2F
営業時間: 月曜～土曜 12:00～22:00
日曜・10/10/2024 18:30～20:30
※10/10は営業終了
※10/10は営業終了
※10/10は営業終了

参加費 3,000円

※当日現金支払い

定員 50名

※満席になり次第受付終了

参加申込

事前申込制

お申し込みは下記QRコードから



※申し込み、キャンセル

福島県双葉郡という震災地域において、事業活動を通じて関係人口の創出に取り組んでいます。

双葉郡では「大熊産のキウイ」や「双葉郡の花から作ったお菓子」、「双葉産のリンゴ」など双葉郡産品と触れ合える機会が「ファン(愛人)」など双葉郡から様々な商品品で応援できる事業が盛り込まれています。

そこで、今もより福島県、双葉郡を応援して下さっている東京圏の皆さんに双葉郡の現状と新商品に触れていただき、商標や活動の輪を積極的に広げて頂くことを目指し、ファンエイジングを開催いたします。

開催内容
○18:00~ 受付開始
○18:30~ 開会
○18:45~ 活動紹介
○19:15~ パネルトーク
○20:30 閉会
当日会場では、双葉産産品「双葉産のキウイ」や「双葉産の花から作ったお菓子」など双葉郡産品と触れ合える機会が「ファン(愛人)」など双葉郡から様々な商品品で応援できる事業が盛り込まれています。



主催：福島県双葉郡 広域連携事務局
おおくまキウイ 再定クワラン/NPO法人相馬牧場産/株式会社choko/株式会社(トノ)
お問合せ先 (株式会社(トノ)) / 電話 050-6805-3838 Mail: okuma_jm@kyukyubanonsa



③持続可能な関係人口創出イベント(ツアー)の開発 福島・双葉郡イノベ地域体験ツアーの実施

**福島・双葉郡
イノベ地域体験ツアー!**
～キウイ・馬・花の活動の場を回り新たな一歩を踏み出そう～

福島県双葉郡という震災地域において、事業活動を通じて関係人口の創出に取り組んでいます。双葉郡では「大熊産のキウイ」や「双葉郡の花から作ったお酒」、「相馬産のシングルである馬と触れ合える施設がオープン」など双葉郡から様々な地域産品を発信できる準備が整いました。今回の日帰りツアーでは、双葉郡の現状と新産品に触れていただき、発信や活動の輪を継続的に広げていくことを目指しています。ぜひ参加していただき、今後の展開と一緒に考えていただきたいと思います。

日時 10/27 SUN
10:40～18:30 ●いわき発 10:40 ●大熊発 11:50
(集合場所の詳細は申込書に記載します)

対象 ・福島県双葉郡でのキウイ栽培や花から作ったお酒、馬と触れ合える施設の活動にみたい方
・今後の展開を継続的に応援してくれる方
・今後の展開と一緒に考えて頂ける方
(主に大学生以上の方を対象としております。参加対象についてご相談がありましたら事務局までご連絡ください)

参加費 【いわき発】6,000円(税込) / 【大熊発】3,000円(税込)
*参加費には、いわきからのバス代・体験料・昼食代・ガイド料が含まれております。
*ご自宅からいわき駅までの交通費は含まれておりません。
*お支払い方法のご案内は申込書付録、ご連絡させていただきます。

定員 30名 *定員になり次第受付終了

申込 右記のQRコードよりお申込みください。
- 申込期間 / 10月20日(日)まで
*工程は天候等の都合で変更になる場合がございます。活動紹介&体験
*動きやすい服装でご参加ください。

ツアープラン
10:40 いわき駅集合
11:50 大熊出発
18:30頃 いわき駅着(予定)
東京方面から「特急ひたち」利用の場合
[7:45 高川駅発・特急ひたち5号]

ゴール 18:30頃
いわき駅着(予定)
東京方面から「特急ひたち」利用の場合
[19:18 いわき駅発・特急ひたち5号]

【旅行企画・実施】
企画・旅行代理店 株式会社バトン 2-316号 株式会社別の手
〒965-0105 福島県郡山市安積町長久保 1-2-7 TEL: 024-945-1313 FAX: 024-945-1324
国内旅行業種別登録番号 山正302-28

■お問合せ先/株式会社バトン 電話 050-6865-3838 Mail: okuma-jimukyoku@baton.asia
■主催:キウイ・馬・花から地域の未来を描く会 事務局 (おおくまキウイ再生クラブ/NPO法人相馬政務課/ichido株式会社/株式会社バトン)
本ツアーは、福島イノベーション・コースト構想「イノベ地域における交流・関係人口拡大推進策」(関係人口創出)に基づいて「プロジェクト」に選定され、実施しております。

日時:2024年10月27日(日)

会場:大熊町内

主催:キウイ・馬・花から地域の未来を描く会

対象:本活動に興味を持っている未来の担い手・協力者

単なる体験会ではなく、活動の主体となってくれる方

参加者:約30名(有料参加7名)

コンテンツ:

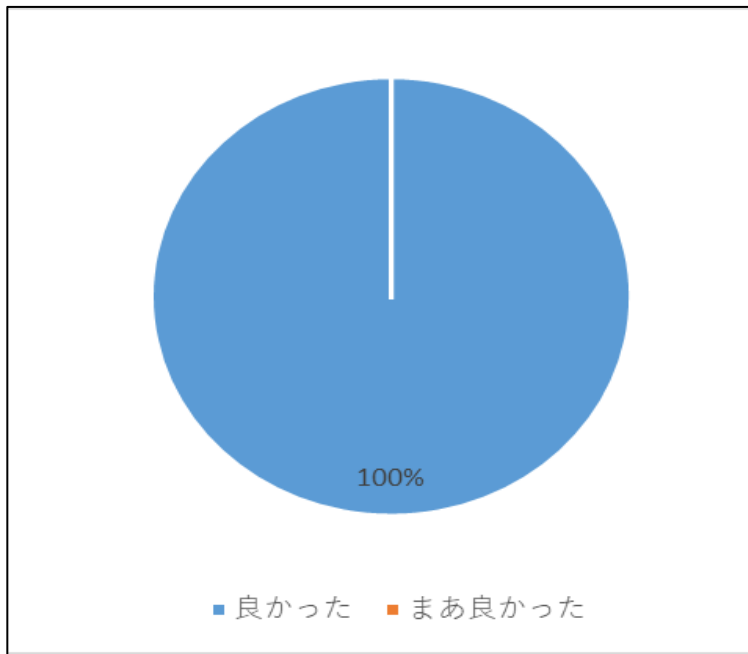
- ・ キウイ栽培活動紹介&体験
- ・ キウイ圃場での昼食
(地元食材での食事&町内喫茶店のスペシャルカレー)
- ・ 花の酵母を使った活動紹介&体験
- ・ 馬文化・馬との共生活動紹介&体験
- ・ 交流会



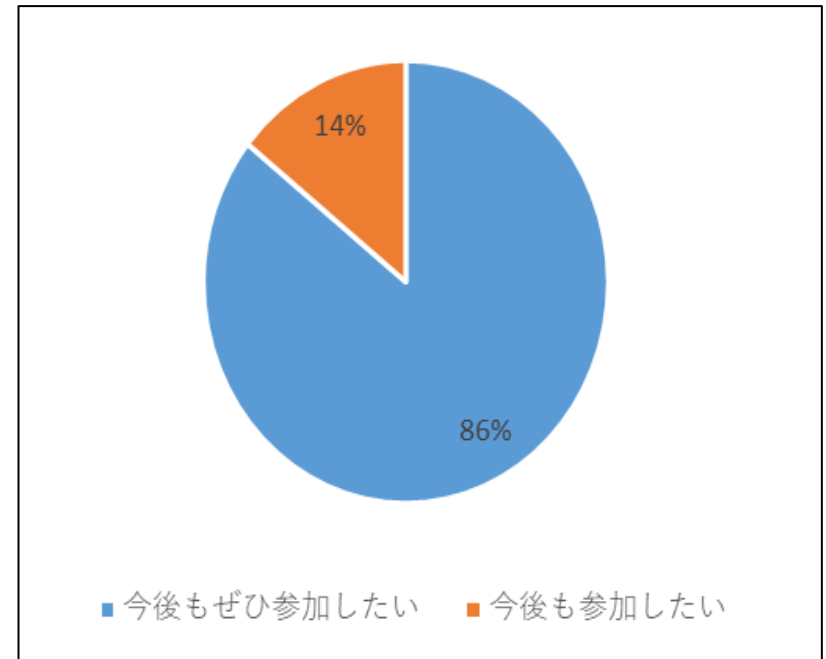


③持続可能な関係人口創出イベント(ツアー)の開発 アンケート結果

【参加者の満足度】



【次回参加意向】



【参加者のコメント】

- ・体験だけでなく、バスの中での双葉の現状を知ることができてよかったです。皆さんのホスピタリティーを感じる1日でした。とても楽しい時間でした。
- ・みなさんのお話が勉強になりました。体験では馬体験が特によかったです。
- ・本格的に関わりたいと思っていた地域の人のお話を直接聞いたのがよかった。
- ・取り組まれている皆さんの魅力がいっぱい詰まったツアーでした。

「自走化」と「規模(関係人口)の拡大」にむけて

●自走化にむけて「収益の確保」の見通し

当初

- ・ 昨年の体験会をブラッシュアップした「ツアー」での収益化を目指した
- ・ 内容としては「体験型観光ツアー(フルコースランチ付)」1人約15000円で設定
- ・ ターゲットとしては「キウイ・馬・花の取り組み」のファンになってくれる方で企画

変更

- ・ 浜通り地域へのツアーや視察で一時的な訪問や関係を持ってくれる人はいるが「継続的・主体的な仲間を増やす」ことができていない。
- ・ 本当の意味での収益化、自走を目指すには「体験型観光ツアー」ではなく、「継続的・主体的な仲間を増やす」コンテンツにしないといけない
- ・ 主体となって関わることに興味がある人むけに変更(価格6000円)

実施

- ・ 「浜通りの事業者側」の課題と手伝ってほしいことを提示
- ・ 主体的な関わりとプロジェクトが生れた (PR課題に対するラジオでのPR企画等)
- ・ 一方で、集客と収益性は今後の課題

今後

- ・ 自主事業として収益を確保できる価格(20,000円)でトライアル実施
- ・ 時期的要因(冬)と価格に対する認知&セールスポイントを打ち出せず中止
- ・ 集客力のあるイベントや有名テーマパークとの連携等、自走にむけてブラッシュアップ継続中



●「規模(関係人口)の拡大」にむけての見通し イノベ事業をきっかけとした広域への広がり

▼2025年

- ・「首都圏・大阪」と「浜通り事業者」をつなぐマーケティング事業
- ・「浜通り事業者」の「首都圏」での販路拡大&ファンづくり事業
- ・首都圏での担い手&協業先発掘ツアー
- ・東京都中央区 大熊町ファミリー向けキャンプ
- ・首都圏からの視察ツアーの受入(大手旅行代理店との連携を模索)
- ・国際報道ニュースでのPR

▼2024年

- ・首都圏でのファンむけ交流会(@ピアシス)を実施
- ・双葉郡外、首都圏からのツアーを実施
- ・新たな担い手の発掘として、若者による新たな商品開発と販売を実施
- ・担い手の育成の継続(自身で馬を飼い始めた若者など)

▼2023年

- ・大熊町ファミリー向けキャンプイベント内でキウイ、馬、花との体験会を実施
- ・体験会を通じて知り合った若者(将来の担い手)の発掘